

## 特別委員会からの質問事項及びその回答について

市議会特別委員会から、初期費用、経常費用、利用者、財政状況等について質問事項をいただき、それに対する回答をしたところ、下記の意見が出された。

## 特別委員会からの意見及び市の考えについて

①今市文化会館解体後跡地と七里地内市有地では事業費に大きな違いがある。また七里地内においては緑地の確保や高さ制限などの課題がある。これらを踏まえ、建設地の選定については慎重に検討すべきである。

## (市の考え)

- ・文化会館整備におけるイニシャルコストについては、どちらの候補地を選定した場合でも財源が見込まれることから、長期的視点（長期財政の収支見通し）からみて大きな差は生じない。
- ・法的制限等の課題については、基準を順守しながら基本設計の中で検討していく。候補地選定については、候補地ごとのメリット・デメリットを整理した上で、施設の利用促進の検討に加え、まちづくりにおける交流人口等の増加などを検証しながら総合的に判断していく。

②整備費用の比較において、「七里地内に整備した場合は、旧日光総合会館跡地利活用事業（日光総合会館検討専門部会から提言のあった集会施設の整備）が不要となる可能性がある」とあるが、専門部会でも議論されていないことを反映させると、勘違いされるのではないか。

## (市の考え)

- ・市民委員会から出された意見であり、不要となる可能性があることから考慮したもの。候補地の選定にあたっては、3館の集約についてどうあるべきかの視点をもって検討することも必要であると捉えている。旧日光総合会館跡地に集会施設を造った場合は、財政面で大きな影響がでることから、総合的な判断を行うために、長期財政の収支見通しにおいては、整備しないものとして推計を行った。

③建設コストをある程度掛けても、利用者及び事業者が長く使えるようなしっかりとした施設を造るべきである。また、ランニングコスト削減のためにも、「興行しやすい、人を集めやすい」施設とし、収益が上げられるような施設にする必要がある。

(市の考え)

- ・新文化会館については、民間活力の導入も含め「興行しやすい、人を集めやすい」施設を目指し、複合機能の併設により施設利用者の増加につなげ、収益を上げていくことが必要であると捉えている。このため、民間活力の可能性について調査を進めていく。

④複合機能については建設費を5億円程度としているが、世界遺産ガイダンスセンターについては、それ以上の金額が掛かると思われる。魅力ある施設にするためには、中途半端な施設を造るべきではない。

(市の考え)

- ・新文化会館本体の建設費を優先していることや、財政負担のバランスを考慮し現時点では5億円を目安にしている。このため、ガイダンスセンターではなくガイダンス機能として整備することとしており、その内容については、関係者や専門家などのご意見を伺いながら、多くの市民及び観光客が利用できる魅力ある施設としたい。